

科目名称	経済学					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)
英文科目名称	Economics					グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)
科目コード	512130	授業形態	講義	単位数	2	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
教員氏名	土田 博		年次担当	2年次	前期				
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング			有・ <input checked="" type="radio"/> 無			
授業概要及び授業方法	<p>経済学を学ぶ目的は、現実の経済の理解や分析だけでなく、広く見識を養うための基礎を身につけることにあります。ここで見識とは、論理的でバランスの取れた考えと、問題に対する広い視野を指します。経済学はこうした見識を養うためのひとつの素養であり、皆さんが社会人として特にビジネスの世界で生きていく上で不可欠の素養です。そのような観点から、就職活動真っ盛りの2年生前期の開講といたしました。タイムリーな経済情報等も随時授業の中に取り入れ、就職面接等にも役立つようにしていきたい。</p>								
関連する科目	「経営学」 「会計学」 「商法・会社法」					卒業認定(学習成果)との関連		③	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ経済学を学ぶのか 2. 需要曲線と需要の弾力性 3. 供給曲線と供給の弾力性 4. 市場均衡とその変化 5. 市場の効率性と市場の失敗 6. ゲーム理論 7. GDPの概念とGDP統計 8. 総需要・総供給とマクロ経済の均衡 9. 家計の消費 10. 企業の投資 11. 国民所得の決定と乗数理論 12. マクロ経済の短期均衡 13. マクロ経済の長期均衡 14. 失業と労働市場 15. まとめ 								
授業時間外の学習	<p>テキストをしっかりと読み込むこと。新聞に目を通し、経済の動きに関心を有すること。授業の復習を1時間程度必要とする。</p>								
授業の到達目標	<p>経済の基礎理論を理解し、現実の経済の動きについて教科書の説明は出来るようになる。その知識によって現代社会が有する種々の課題を理解できるようにする。</p>								
課題に対するフィードバック	レポート提出と課題評価を行う。					評価方法・基準		試験80% レポート20%	
テキスト	河合栄三著「基礎ミクロ・マクロ経済学講義ノート」流通経済大学出版社、(900円+税)。								
参考書	なし								
備考									